

Meta広告 ターゲティング設計シート

広告セットのオーディエンスの欄で、守りたい条件とAIに渡すヒントを分け、地域と半径と除外を決め、業種に合う組み立てで入れて、配信後に答え合わせをするための4枚

この4枚でできること

- ☐ 6つの項目を「条件」と「ヒント」に振り分けられる
- ☐ 半径を4つの順番で決め、除外の形を選べる
- ☐ 自社の業種に近い組み立て例から、入れるものを決められる
- ☐ 配信したあとに内訳で確かめる3つに印を付けられる

使う順番

2ページで条件とヒントを分ける → 3ページで地域と除外を決める → 4ページで組み立てを決め、配信後に答え合わせをする。

目次

2	条件とヒントの振り分け表 6つの項目、確実に守りたいときの切り替え
3	地域と半径と除外を決める 届け先の3種類、半径の4つの順番、除外の形
4	業種ごとの組み立てと答え合わせ 4業種の例、入れる順番、配信後の3つ

数字と決まりの出どころ

この資料に載せた内容は、Metaビジネスヘルプセンターで2026年10月15日に確かめたことと、講座第16回の記事本文にあるものだけです。画面の名前や手順は時期によって変わることがあります。

条件とヒントの振り分け表

守りたいことは条件に入れる

項目	扱い	自社ではどうするか
地域	条件（この外には出ない）	
最低年齢	条件	
言語	条件	
除外（地域、カスタムオーディエンス）	条件	
年齢の幅	ヒント（外にも出ることがある）	
性別	ヒント	
詳細ターゲット	ヒント	

Advantage+ オーディエンスがオンのときの初期の扱いです。年齢や性別を確実に守る必要があるときだけ、[オーディエンスをさらに制限する] で手動の条件に切り替えます。切り替えるとAdvantage+ オーディエンスはオフになります。

確かめること	印
法律や業界の決まりで出せない年齢があるなら、最低年齢に入れた	☐
性別で切るのは、利用できない性別がある場合だけにした	☐
日本国内向けの日本語の広告では、言語を入れていない	☐
詳細ターゲットの「かつ」は1段までにした	☐

地域と半径と除外を決める

地域の設定がそのまま商圈になる

届け先	どんな人か	向いている例
住んでいる人	自宅がその地域	地域の住民だけが対象のサービス
最近いた人	最近その地域に滞在していた	旅行者や来訪者に届けたいとき
頻繁に訪れる人	通勤や通学などで通る	駅前の美容室、飲食店のランチ
半径を決める4つの順番		自社のメモ
1 いまの客がどこから来ているか（予約台帳、配送先の住所）		
2 移動手段（徒歩、自転車、電車、車）		
3 広すぎる損（来られない人に表示されても成果にならない）		
4 狭すぎる損（同じ人に何度も表示されて費用が上がる）		
地域の欄で確かめる		印
郵便番号、都道府県、国では半径を選べない。円にしたいなら市区町村かピンで選んだ		☐
除外の形を決めた（商圈の外を外す、ドーナツ型）		☐
[広告に反応する可能性が高い人へのリーチを増やす] のオンとオフを決めた（来店型はオフが基本）		☐
地域の外から反応が来る前提で、フォームに市区町村までの住所の欄を入れた		☐

業種ごとの組み立てと答え合わせ

店舗型は地域を条件に、ネットショップは広く

業種	条件として入れる	ヒントとして渡す
美容室	通える半径、反応する人へのリーチはオフ	年齢の幅、性別、ヘアケアの興味
飲食店	通える半径（ランチは職場の近くも）	グルメの興味
ネットショップ	配送できる国だけ	商品分野の興味、既存客のリスト
BtoBサービス	対応できる地域	仕事の役職や業種
入れる順番		印
地域（住所かピン、半径、除外）を入れ、反応する人へのリーチを確かめた		☐
最低年齢を確かめ、年齢の幅、性別、詳細ターゲットをヒントとして入れた		☐
すでに買った人などのカスタムオーディエンスを除外した		☐
推定オーディエンスサイズを見て、小さすぎないかを確かめた		☐
配信したら内訳で確かめる		印
商圈の外にどれくらい出ているか		☐
ヒントにした年齢や性別の外で成果が出ているか		☐
成果の出ていない年齢層に費用が偏っていないか		☐

確認先（2026年10月15日確認）

広告の地域を選択する方法	facebook.com/business/help/365561350785642
詳細ターゲット設定を使用する	facebook.com/business/help/440167386536513
オーディエンスのコントロールと提案	facebook.com/business/help/938372127764391